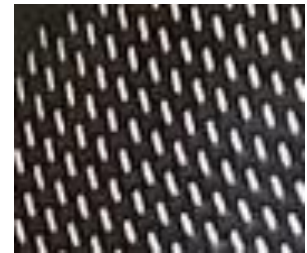


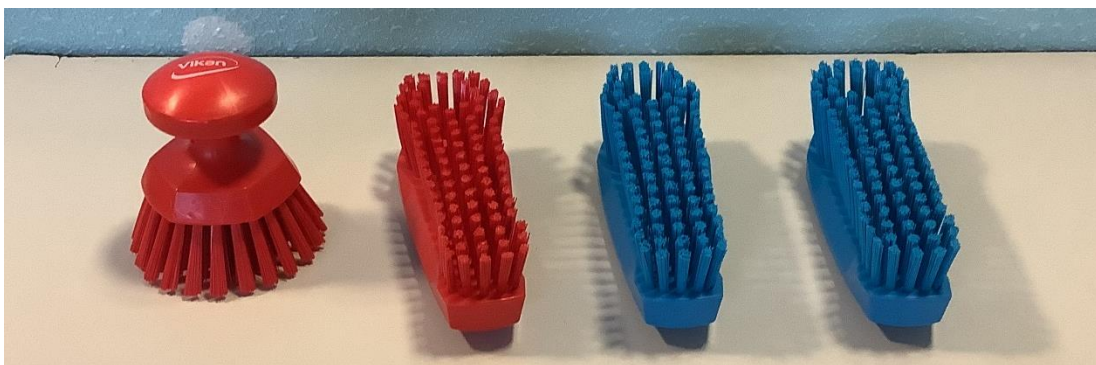
1月にブラシの毛が野菜サラダに入ったと思われる異物混入がありました。原因は、当日使用したザルにブラシの毛が挟まっていた可能性が高いため、以下の4点を改善し、安心・安全でおいしい給食を提供できるように努めています。

- ①異物の発見をやすくするために、野菜を洗う時には、少量でもザルを使用せず、シンクに溜めた大量の水で洗うように徹底しました。
- ②水切りでザルを使用する前に、必ず目視で確認することをさらに徹底しました。
- ③調理に使用するザル全てを「パンチングザル」に統一しました。購入した「パンチングザル」です。



(※通常のザルとの違いは、穴あきか網状かという点です。「パンチングザル」は、ブラシの毛がはさまりにくく、針金が折れて食べ物に入り込む心配もないため、そのような異物混入を回避できます。)

- ④調理器具や鍋を洗うブラシの毛が抜けていたときに発見しやすいように、赤や青の目立つ色のブラシを追加購入しました。



<その他気をつけていること>

- ・ブラシの折れている毛や枝毛のようにになっているものは、ハサミで切り、毛が抜けないかを確認しています。
- ・ブラシを消毒する際には、ブラシなどが劣化しないように塩素濃度に気を付けています。